※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２９

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

科目「保健」は、生涯を通して健康を考え、健康を確保することでさまざまな自己実現が図られる生活の根幹を成す科目だと考えます。青年期に必要な「現代社会」「人の生涯」という観点から、課題を探し、現状を把握しながら問題を解決していこうとすることで、自らの成長や日々の暮らしに役立てて欲しいと思います。知識の習得のみにとどまらず、課題を解決していく方法を、地域や社会の中から探す力を育成するために、ホームページ・新聞などから「健康に生きる」ための情報を収集し、議論できる姿勢を持ってください。
授業は教科書中心に進めますが、板書をノートに書き写すだけでなく、自分なりに工夫してまとめましょう。

2　学習の到達目標

①個人及び社会生活における健康・安全について理解する。
②健康問題の解決方法を身につける。
③生涯にわたる健康の保持増進の基礎を身につける。
④健康の保持増進のための実践力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。 ・社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策についての基礎的な事項を理解している。	・生涯の各段階における健康課題、及び社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	・生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・社会生活における健康の保持増進には、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策が重要であることに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期期末考査まで	安全な社会生活	4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	a：応急手当や心肺蘇生法ついての方法や手順について理解し、実習等を通じてそれらの技能を身に付けている。等 b：応急手当は障害、疾病の悪化によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解し、説明することができる。等 c：心肺蘇生法、応急手当などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。等	定期テスト 小テスト	ノート・レポート等提出物 定期テスト 小テスト ディスカッション等の班別活動	ノート・レポート等提出物 ディスカッション等の班別活動 授業態度
	生涯を通じて健康	1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	a：受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題や、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について理解している。等 b：思春期と健康、結婚生活と健康について、習得した知識を基に、それぞれの健康課題を解決するため、様々な情報や、保健医療サービスの活用方法を適切に整理し、判断、選択し、それらを説明することができる。等 c：思春期、結婚生活の段階において健康、行動、生活などの課題や特徴についての学習に自主的に取り組もうとしている。 環境問題と健康、環境衛生・食品衛生活動のしくみと働き、労働と健康に関する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。等	定期テスト 小テスト	ノート・レポート等提出物 定期テスト 小テスト ディスカッション等の班別活動	ノート・レポート等提出物 ディスカッション等の班別活動 授業態度

※令和４年度以降入学生用

後期期末考査まで	健康を支える環境づくり	1　大気汚染と健康 2　水質汚濁、土壌汚染と健康 3　環境と健康にかかわる対策 4　ごみの処理と上下水道の整備 5　食品の安全性 6　食品衛生にかかわる活動 7　保健サービスとその活用 8　医療サービスとその活用 9　医薬品の制度とその活用 10　さまざまな保健活動や社会的対策 11　健康に関する環境づくりと社会参加	a：公害問題について発生の経緯と大きな被害、解決への取り組みについて、また現在及び今後の環境問題について理解している。等 c：医療・保険制度、医薬品と健康、保健活動について、環境問題における課題の解決について、適切に整理し、判断、選択し、それらを説明することができる。等 c:環境問題と健康、環境衛生・食品衛生活動のしくみと働き、それらに対する社会的対策について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。等	定期テスト 小テスト	ノート・レポート等提出物 定期テスト 小テスト ディスカッション等の班別活動	ノート・レポート等提出物 ディスカッション等の班別活動 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度